

神奈川大学図書館 目録(基本)カード

目次

- 特集 本物!?!いいえ、残念ながら複製です。
レプリカ
 -それでも感動してしまう書物の世界へ・・・2頁
- 〔連載〕新 OPAC をはじめよう!
 ①蔵書検索・・・4頁
- 2015年度 春の図書館ツアー・
 ガイドンスのお知らせ(横浜図書館)・・・6頁
- 《図書館の所蔵資料紹介》
 『コミュニケーションと中央委員
 -バリ・コミュニケーション戦士の写真帳』1871年
 ……7頁
- 図書館からのお知らせ
 今号の表紙
 編集後記・・・8頁

本の歴史を変えた人々⑧

アロイス・ゼネフェルダー
 (Aloys Senefelder, 1771-1834)

1798年頃、石版画技術(リトグラフ)を発明した。石版画は木版画や銅版画と異なり、版面の凹凸によって図像を印刷するのではなく、水と油が反発しあう性質を利用したもので、ペンや筆などの素描の効果を描いたそのままに再現できるため、本の挿絵や図版などを簡単に印刷することができた。特にフランスではこの技法によって画家たちが優れた作品を残し、諷刺雑誌の挿絵にも盛んに活用された。オノレ・ド・ミエなどは「カリカチュール」「シャリバリ」などの諷刺雑誌で多くのリトグラフ作品を残している。

【特集】

本物!? ^{レプリカ} いいえ、残念ながら複製です。

— それでも感動してしまう書物の世界へ —

「ファクシミリ版」という本があることをご存じでしょうか？これは世界に一冊しかない写本や自由に見ることができない貴重な書物などを、精巧な技術によって忠実に再現した複製資料です。複製の対象とされるのは中世ヨーロッパで作られた装飾写本や、現存する数が少ない印刷術発明初期の刊本など、おそらく本物を見る機会は一生ないだろうと思われる書物です。本物を所蔵する図書館や博物館にはるばる出かけていっても、見せてもらえるかどうかわからないこれらの貴重な書物は、このような複製資料が作られることによって、初めてその内容を多くの人が研究できるようになります。

神奈川大学図書館でもファクシミリ版をいくつか所蔵しています。これらはその内容に歴史的価値があるというだけでなく、書籍文化という面からも非常に興味深い資料です。現在横浜図書館1F展示コーナーではこれらの資料を展示しています。その一部をご紹介します。

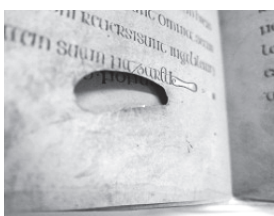
1493年刊『世界年代記』 シューデル著；コーベルガー印行 ファクシミリ版 Siroé, 2002年



原本は『ニュルンベルク年代記』とも呼ばれ、印刷術発明初期の“インキュナブラ”と言われる貴重本の中でも、そのグラフィック・デザインや多数の挿絵の美しさによって、特に貴重な資料とされています。ニュルンベルクの中心的人文学者であったハルトマン・シューデルによって著わされ、当時の最大手の印刷業者だったアントン・コーベルガーの工房で印刷されました。47×33センチの大型本で、木版画に美しく彩色された挿絵はもちろん、本のシミや破れも再現されています。

8世紀『ケルズの書』 ファクシミリ版 Faksimile Verlag Luzern, 1990年

原本は8-9世紀にスコットランドのアイオナ修道院とアイルランドのケルズ修道院で作られたと言われるキリスト教の福音書で、6世紀の聖コロンバ（聖コルム・キレ）に捧げられました。『ダロウの書』『リンディスファーン福音書』と共に三大ケルト装飾写本の一つとされています。インスラー・アート（島嶼美術）という特徴的な装飾様式を持つ写本で、アイルランドの国宝になっています。



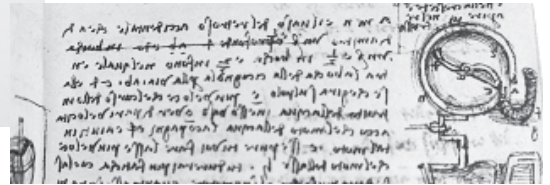
原本の虫喰いの跡を再現したページ

15-16世紀 レオナルド・ダ・ヴィンチ 手稿コレクション

『解剖手稿』ファクシミリ版 岩波書店 1982年

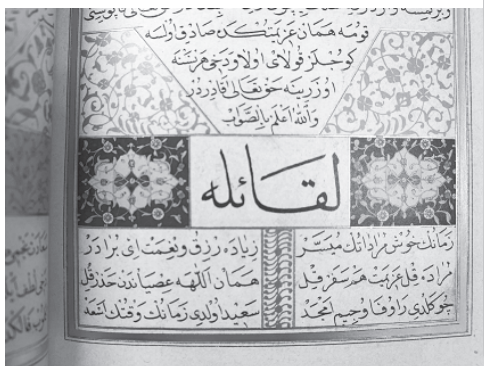
『パリ手稿』ファクシミリ版 岩波書店 1995年

レオナルド・ダ・ヴィンチが残したデッサンや、手稿などが取められたコレクションです。特にパリ手稿は、有名な「鏡文字」で埋め尽くされたノートを形までそっくり再現した、めずらしい資料です。



16世紀『至福の書』ファクシミリ版 M.Moleiro, 2007年

オスマン朝写本文化が隆盛を極めた16世紀後半の細密画写本。スレイマン大帝の孫ムラト三世の命を受けて作られました。内容は占星術や占い、星座表などに関する事柄ですが、イスラーム写本の特徴的な装丁と細密画の美しさには目を奪われてしまいます。現在、原本はフランスの国立図書館が所蔵しています。



2015年度 図書館展示

「本物!?! いいえ、残念ながら複製^{レプリカ}ですーそれでも感動してしまう書物の世界へー」

期間：2015年4月2日－5月31日

場所：横浜図書館 1F展示コーナー

前号でもお伝えしましたが、図書館のシステムリプレイスにともない蔵書検索、(OPAC) が新しくなりました。新 OPAC は莫大な情報を検索する中で、今自分が何をやっているのか見失わないよう、画面展開に考慮しました。また興味を持った事項について更に展開し新たな発見に出会えるように、情報検索の楽しさを体感してもらえるように、さまざまなアクセスポイントを用意しました。情報の海で溺れてしまわないように、図書館の OPAC を活用して、是非新たな知識に触れてください。ちょっとでも便利になった、検索がおもしろくなったと感じていただければ幸いです。

この OPAC について、連載でご紹介していきます。第 1 回は、「蔵書検索」機能です。大学の学びの中で何か資料を探するとき、この「蔵書検索」は基本中の基本になりますので是非マスターしましょう！

これが新図書館 OPAC のトップ画面です。



検索窓の上に、検索タブがあります(囲われた部分です)。その中の「蔵書検索」を選んでください。ここでは横浜・湘南ひらつかキャンパスの図書館や研究所で所蔵している資料を検索することができます。資料は図書に限りません。雑誌や視聴覚資料も検索できますし、ヒットした電子書籍や一部雑誌については、画像上で本文まで見ることができます(学内限定)。

検索窓にキーワードを入れて検索すると、資料の一覧が表示されます。今までの OPAC と異なるのは、画面左側に絞り込み項目が表示されることです。検索結果をみて、資料の種類(図書等)や所蔵館(横浜・平塚)、出版年などによる絞り込み機能、ファセット検索機能を追加しました。



検索結果の中から1つ、これは！と思ったものがあれば、タイトルをクリックしてみましょう。

これがその資料が図書館のどこにあるのかを示した、所蔵詳細画面です。

書誌詳細 42件目を表示 (全896件)
印刷

◀ 前の書誌
▲ 検索結果一覧へ戻る
次の書誌 ▶



資料検索入門：レポート・論文を書くために
市古みどり編著；上岡真紀子，保坂隆著。-- 慶応義塾大学出版会，2014。-- (アカデミック・スキルズ)。<BB04131972>

総合評価： ★★★★★
登録タグ： 登録されているタグはありません

便利機能： [ブックマーク](#) [タグ](#) [出力](#) [メール](#) [文献管理](#)

▶ 目次・あらすじを見る ▶ レビューを見る ▶ 詳細情報を見る

書誌URL： <http://opac.kanagawa-u.ac.jp/webopac/BB04131972> [選択](#)

所蔵一覧 1件~2件 (全2件)

No.	番号	所蔵館	配置場所	請求記号	資料ID	状態	返却予定日	予約
0001		横浜	書庫上層	B014.054	DP201313610	貸出中	2015/6/22	0件 予約
0002		平塚	第1閲覧図書	015.2	201400169	配架済		0件 予約

① 請求記号をクリックすると、請求記号ラベルのイメージが表示され、配置場所をクリックすると、資料の配架マップが表示されます。予約も従来通りこの画面からできます。

② 目次とあらすじが表示されます！（一部資料を除く）

③ 右側の「関連情報」より、図書館が推薦するサイトへのリンクや、この資料を検索している人が他にもどのようなものを検索しているのか、また同じ分類でよく借りられている資料等も表示されます。

① あらすじ

本書は、資料検索について大学生に授業を行ってきた大学図書館員が、レポートや論文執筆を行う際に、役立つ情報をどのように調べたらよいかをまとめたものです。自分が書こうとするテーマや考えを回めるために必要な資料（根拠）を検索し、それらを手するまでの「検索スキル」

関連情報

関連資料

- ▶ シリーズから探す
- ▶ 著者から探す
- ▶ 分類から探す
- ▶ 件名から探す

この資料も一緒に見えています

ヤマハ音楽通信
ヤマハ音楽振興会〔編〕.
-- 303号 (1991.3). --
ヤマハ音楽振興会, 196-

富士山.
1號 (明25.6). -- 岳麓社, 1892.

女性・婦人問題
日外アソシエーツ編. --
日外アソシエーツ, 2014
-- (統計図表レファレンス事典).

他の検索サイトで探す

Amazon
Google Books
WorldCat
NDL Search

また、今回レビュー機能も追加しました。自分でレビューを書いて投稿もできますし、他の人が書いたレビューを見て資料探しの参考にできます。

▲ このページのTOPへ

レビュー

▶ 1件のレビューを見る
[この書誌のレビューを書く](#)

★★★★★ ハンディで分かりやすい

分かりやすい内容で、丸々1冊、どこの大学図書館でも利用できる内容です。持ち運びに便利な大きさ厚さもよいです。

投稿日：2015/02/21 神大 横浜 職員

▲ このページのTOPへ

蔵書検索画面で様々なことができるようになったOPAC。まずは是非利用してみてください。モバイル版も、スマートフォン用アプリもあります。詳しくは、図書館ホームページ、『情報リテラシーテキスト2015』（4月中旬発行予定）、『OPAC利用ガイド』（4月1日発行予定）等をご覧ください。

2015年度

春の図書館ツアー・ガイドンスのお知らせ（横浜図書館）

4月・5月の図書館ツアーやOPACガイドンスの予定をお知らせします。

図書館のシステムリプレイスによりOPACが大幅に変わったこともあり、2015年度のツアーとガイドンスは例年よりも回数を増やしました。都合にあわせて是非この機会にご参加ください。

ツアーとOPACガイドンスの両方にご参加いただいた方には、ノベルティを用意する予定です。

新入生はなるべく、図書館ツアーに参加してからOPACガイドンスを受講してください。書庫の資料を見ると、OPACの必要性がよくわかります。詳細については、図書館ホームページをご覧ください。

1. 図書館ツアー

■日程：4月は4月6日(月)～月末まで

5月は5月7日(木)～月末まで

■時間：各回約25分

4月 ①10:00-10:25

②11:30-11:55

③12:05-12:30

④16:30-16:55

5月 ①9:30-9:55

②11:00-11:25

③12:05-12:30

④16:30-16:55 (木曜のみ実施)

■定員：各回上限25名 申込不要

2. OPACガイドンス

■日程：4月は4月6日(月)～月末まで

5月は5月14日(木)～

月末まで (FYS 6週目以降)

■時間：各回約25分

4月 ①12:30-12:55

②16:30-16:55

5月 ①10:00-10:25

②11:30-11:55

③12:30-12:55

④16:30-16:55 (木曜のみ実施)

■場所：視聴覚小ホール

ノートPC20台を使って実習形式で行います(各回上限25名 申込不要※相席になる場合があります)。

・初級編：蔵書検索を中心とする。

・上級編：図書館に所蔵がない資料の探し方

・4月20日～4月末までは、初級編と上級編を毎日交互に実施します。

5月は③の回を上級編とします。

■注意：パソコンにログインするため、各自のMNSアカウントを必ずご用意ください。

教員向け図書館ガイドンスも行います！

【日時】

・3月30日(月) 11:00～12:00

・3月31日(火) 11:00～12:00

・4月6日(月) 11:00～12:00、14:00～15:00

※ガイドンスの内容は4回とも同じです。

※申込不要

【場所】

横浜図書館2階リテラシーセミナー室(PC14台)

【内容】

・新OPACについて

・ディスクバリーサービス(2015年度より導入)について

・各種データベースについて

・VPN接続について(ご自宅等からのデータベース等へのアクセスについて)

・教育研究用図書の購入方法について

コミュニケーションと中央委員ーパリ・コミュニケーション戦士の写真帳

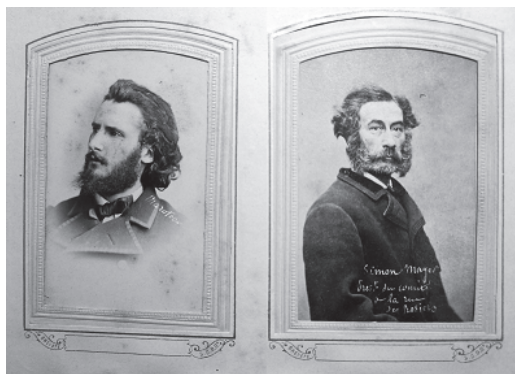
Commune et comité central. 1871



写真史を学ぶ者の必読書、ヴァルター・ベンヤミンの『写真小史』は“写真の始まりを包んでいる霧は、書籍印刷術の初期を被っている霧ほど厚いものではない”という印象的な一文から始まる。写真は発明されるべき時期がとうに到来しており、それを一人ならぬ人間が感じ取っていたことは書籍印刷術発明の場合よりも明らかであった、とあるように、写真技術は異なる場所で何人もの人々によって、ほぼ時を同じくして研究され発明された。映像を捉え、転写・複製することを目的とした研究は、18世紀末の石版印刷術の発明やイギリスの陶工ウエッジ・ウッドが行った陶器への絵柄の転写実験などを経て、19世紀に入りイギリスのタルボット、フランスのバヤールなどがそれぞれ異なった方式で写真技術を開発した。しかし写真技術の発明者とされたのは、フランス科学芸術アカデミーにおいてその発明が発表されたルイ・ジャック・マンデ・ダゲールという人物で、発表の年1839年は写真誕生の年とされている。

写真に写る現実の世界の忠実な再現に人々は驚き、すぐに虜になった。その昔、書籍印刷術の発明によって印刷本が大衆に広まっていくよりも何倍も速く、写真は人々の生活に浸透していった。最初高価だった写真は短期間のうちに技術も進歩し、安価に多くの人々の手に届けられるようになった。特に肖像写真は人気があった。画家に肖像画を描かせるお金のなかった人達も、写真のおかげで自分の顔や家族や恋人の姿が持てるようになったのだ。特に写真の大衆化の大きな流れを作ったのは、1854年頃フランスのディスデリ（André Adolphe Eugène Disdéri, 1819-1889）によって考案され、その後肖像写真用として大きな流行になった名刺判写真（カルト・ド・ヴィジット）である。この写真の登場によって、スタジオで自分の写真を撮ってもらうという行為も多くの人の間に広がっていった。

ここに一冊のアルバムがある。中に収められているのは写真の大衆化を担ったとされる名刺判写真で、写っているのは、1871年パリで史上初の労働者政権を樹立したパリ・コミュニケーションに関わった96名の肖像で、



ある。例外的に反コミュニケーションの人物の写真も数枚入っているが、いずれもパリ20区内でコミュニケーション議員に選出された者や、中央委員や国民衛兵としてコミュニケーションに関わった人々の写真である。中には当時のカリカチュアによく描かれ、知られた顔の人物もいるが、詳しい経歴の分からない者や、いつどこで生まれ亡くなったかの記録すら残っていない者も多い。わずか72日間で自国の政府軍によって壊滅させられたパリ・コミュニケーションを担ったのは、地域の職人や学者、ジャーナリストといった無名の人々だったのである。彼らは少し緊張した面持ちで、ある者は正装し、ある者は軍服で、そしてある者はくたび

れた上着を着、それでも皆しっかりと何かを見据えている。写真が大衆に広まった時代とはいえ、一生に一度きりの撮影だったのかもしれない。まだコミュニケーションの行く末を知らずに明るい未来を思い描く目をした者や、やがて流刑地に送られ、病に倒れる運命を知らぬ美しい人もいる。

パリ・コミュニケーションが、写真発明以前の肖像画を画家に描かせていた時代の出来事ならば、このアルバムの人々の姿はおそらく残されてはいなかっただろう。なぜなら彼らの大半は画家にお金を払える余裕もなく、裕福でも有名でもなかったからだ。民衆革命に身を投じた人々の姿は、写真の発明と大衆化によって永遠に残されたのである。

請求記号：A235.6-565（横浜貴重書庫）

（図書館資料サービス課 荏原直子）

図書館からのお知らせ

横浜・平塚共通

- ◎春季長期貸出期限日
2015年4月7日(火)
返却期限日までに必ず図書館に返却してください。
延滞すると延滞日数分(最長2週間)貸出停止になります。
- ◎図書館を利用する際は学生証が必要です。
入館ゲートを通るとき、図書を借りる際には学生証が必要です。
- ◎ガイダンス
横浜図書館では4月、5月に利用ガイダンスを行います。ガイダンスの内容については6ページをご覧ください。図書館ホームページでも案内しています。
- ◎盗難への注意
貴重品(財布、携帯等)は席を離れる時、必ず身につけてください。
- ◎マナーを守りましょう
下記の迷惑行為は止めましょう。
 - お喋り
 - ヘッドフォンの音漏れ
 - 携帯電話の使用(通話)
 - 指定場所以外でのパソコン、電卓の使用
 - 飲食
- ◎図書館では館内で利用できるノートパソコンの貸出も行っています。
是非ご利用ください。

編集後記

東洋文化研究者アレックス・カー著『ニッポン景観論』(集英社、2014年)は、現代日本の景観が独自の理論と経済効率優先によっていかに損なわれているかを解説した本だ。第二章では、美しい風景をぶち壊しにする看板がとり上げられている。とにかく大きくて赤か黄色で目立つのが一番、と信じている広告看板が景観を著しく損なっているのは誰もが感じているところだが、「立入禁止」や「順路」などの大きくて目立つ注意・案内看板も美しい景観を壊していることが多い。看板を出す方としては、入ってはいけない事が分からない人や行先が分からない人がいるのだから、目につく分かりやすい看板を出さなければ、という理由らしい。しかし著者は注意の看板はかえって逆の効果を喚起し、相手を子供扱いすると人間はそれに応じて子供になってしまうと説く。それよりも、その場所に立ち入ってはいけないような敬意を感じさせる「場所の品格」を保つことのほうが、大きな看板を立てるより効果があると実例を挙げて述べている。

分かりやすいという事は親切な事であり、親切であるというのは良い事である。しかし分かりきっている事をことさら説明するような行為は相手の知性を否定することにつながっていく。「品格」を保つには相手の知性に訴えかける必要がある。訴える側にも忍耐と知性が必要とされる。すぐには解決しない事も多い。しかし、それによってもたらされるものは、長い目で見れば財産になっていくのではないだろうか。

大学も「場所の品格」を保つよう、心掛けていきたい。
(N.E.)

今号の表紙

神奈川大学図書館 目録(基本)カード 昭和41年

検索システムが導入されるまで、全国の図書館で検索の手段として、このような目録カードが作られていた。本を探す人は目録カードを一枚一枚めくって目的の本にたどり着いた。表紙の目録カードは本学図書館のカード。万年筆で手書きされ、請求番号の変更跡やシステム化の際に振られた番号などが残っている。